

第2学年 生活科学習指導案

場 所 2年1組教室 2年2組教室
授業者 井深 洋代 林 祐里

1 単元名 「つたわる 広がる わたしの生活」

2 単元について

内容(3)「地域と生活」

自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

内容構成の具体的な視点

イ身近な人々との接し方 ウ地域への愛着
エ公共の意識とマナー カ情報と交流

本単元では、1学期の町探検や、これまでに体験した地域での出来事などを仲間と交流し合う中で、もう一度地域の人に会いたいという思いをふくらませ、会いたい人や探検したい場所を決め、2回目の町探検に行く。2回目の探検では、店の人の思いや願いを聞いたり、店の人の仕事を体験したりする。このように、地域で生活したり働いたりしている人々と繰り返し関わる活動を通して、養基のよさに気付き、そこで働く人や地域への愛着を深めることができるようにしたいと考える。

また、実際に地域の人々と関わり、マナーを守ることによって互いに気持ちよく生活できるという体験を重ね、児童自らが人々と適切に接する大切さを感じ、その接し方を身に付けることを期待して本単元を計画した。

3 研究にかかわる本時の意図

研究内容1 教材化の在り方と単元構成の工夫

① 意欲的に対象と関わることができる教材開発

本単元では、学校の近くで児童との関わりが深く、「もっと知りたい」「仲良くなりたい」という意欲を引き出すことのできる探検先を選定した。1学期の「町たんけん」の活動や児童の希望をもとにして、駅前5店舗と、夏野菜の苗をいただいた校区の園芸屋さんの6つの探検先に決定した。見たり聞いたり体験したりすることを、繰り返し設定することで、地域がより身近なものになることができるように考える。

研究内容2 学習活動の工夫

① 児童の願いが明確になる導入の工夫

本時の授業の導入では、店の人の顔写真を掲示する。そうすることで各チームが紹介する店や人を確認しながら、探検時に聞いた店の人の思いや願いを思い起こすことができるようにしたい。また、本単元の出口として、1年生に「養基の町のすてきな人」のことを伝える時間を設けている。目的を明確にし、児童と共に学習計画を立てて取り組むことにより、見通しをもちながら活動意欲を継続させることができると考えた。



② 気付きの質を高める活動の工夫

今回の探検では、6カ所の探検先を2つのグループに分け、3チームずつで一緒に探検する。本時では、新聞作りの準備の段階で「中間交流会」の時間を設けて、新聞記事の内容を決めていく。交流するチームも一緒に探検していることから、店の人の思いや願いと一緒に考えたり、自分たちの発表と比べたりして、アドバイスし合い、伝えたいことをより確かなものにしていきたい。その活動を通して、店の人の願いや思いにも気付くことができると期待している。

研究内容3 評価と指導援助

① 一人一人の学習状況に応じた指導・援助の工夫

グループ交流の前に、「わかりやすさ」に気を付けながら、店の人の「願いや思い」を中心に記事内容を決めることを共通理解しておく。また、話し合いが停滞した時には、探検カードへの教師の朱書きを参考にしたり、チーム交流でのアドバイスを想起できるように声をかけたりして、発表内容を改善していけるようにしたい。

② 児童が自らの成長に気付く自己評価の工夫

本時のめあては、「なかよしマン」「はっけんマン」で自己評価する。振り返りをカードに記入してチームで交流することにより、自己の頑張りや成長に気付くことができるようにする。

4 本時のねらい

養基の町の「すてきな人」のことを紹介する準備を通して、地域で生活したり働いたりしている人々の思いに気付くことができる。

5 本時の展開 (7時/全13時間) 2年1組教室

	学 習 活 動			指 導 ・ 援 助	
願 い を も つ	1 課題を確かめ、活動の見通しをもつ。			<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を作り、1年生に養基の町の「すてき」を紹介するという見通しをもたせるために、新聞のサンプルと、学習計画を掲示する。 ・探検で見付けた事や、店の人の思いや願いに朱線を引き、交流しやすくしておく。 ・店の人の顔写真を掲示し、探検で見付けたことや聞いた話を想起できるようにする。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 町たんけんで見付けたことや、お店の人の思いやねがいをこうりゅうし、はっぴょうすることをきめよう。 </div> 見付けよう・・・店の人のお客さんへの思いを見付けよう。				
活 動 す る	2 グループ毎に、探検で見付けたことや店の人の思いや願いを交流する。			<本時までの児童の意識> 見てきたことや聞いてきたことをどうやってみんなに伝えたいかな。	
	店	肉のたなかさん	松本屋さん		杉山ふとんさん
	紹介したいこと※思い	<ul style="list-style-type: none"> ・コロッケや唐揚げを店で揚げている。 ※あたたかく、作りたいを味わってもらいたいから。 ・大きな冷蔵庫がある。 ※いろいろな種類の肉やコロッケなどをたくさん保存している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・養基幼稚園の園服を店で作っている。 ※お客さんから、たのまれたから。 ・お客さんから頼まれた服も仕入れている。 ※お客さんに喜んでもらえる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・店にはオーダーメイド枕を作るための機械がある。 ※お客さんの頭にぴったりの枕が作れる。 ・工場では、機械で布団を作っている。 ※病院や老人ホームからの、たくさん注文にこたえている。
アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・肉を切ったりラッピングしたりする機械もある。 ※いろいろな厚さに肉を切ることができる。 ※衛生に気をつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝7時から店を開いている。休みは、お正月だけ。 ※お客さんがいつでも買いに来られるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふとんの打ち直しができる。 ※古くなったふとんでも、リフォームして、長く使ってもらいたい。 		
振 り 返 る	3 記事の分担を決める。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ◆評価規準 地域で生活したり働いたりしている人々の、地域の人への思いに気付いている。(気付き) 〈作業・つぶやき〉 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの観点での評価と振り返りカードへの記入・交流を行い、教師による価値付けにより、自己の頑張りや成長に気付くことができるようにする。 	
	4 活動を振り返り、めあてに対する評価（なかよくした・はっけんした）をし、「〇〇マン」で今日のがんばりを認め合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・私は「なかよしマン」です。肉のたなかさんの、コロッケや唐揚げをあげるサービスは、わたしの家では、「すぐに食べられて、美味しくて便利だ。」と言っていたので、そういう感想を書くことができました。 ・僕は「はっけんマン」です。杉山ふとんさんが工場で作っているふとんも、お客さんの希望に合わせていることを発見しました。そのことをオーダーメイドまくらと一緒に新聞記事にすることにしました。 				
	5 教師による評価をし、次時への意欲付けをする。			<出口の児童の意識> お客さんへの思いを分かりやすく伝えたいな。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・次の時間は、店のひみつや、働いているすてきな人の願いや思いを新聞に書きましょう。 				

4 本時のねらい

養基の町の「すてきな人」のことを紹介する準備を通して、地域で生活したり働いたりしている人々の思いに気付くことができる。

5 本時の展開 (7時/全13時間) 2年2組教室

		学 習 活 動			指 導 ・ 援 助
願 い を も つ	1	課題を確かめ、活動の見通しをもつ。 町たんけんで見つけたことや、お店の人の思いやねがいをこうりゅうし、はっぴょうすることをきめよう。 見付けよう・・・店の人のお客さんへの思いを見付けよう。			<ul style="list-style-type: none"> チームで〇〇新聞を作って1年生に養基の町の「すてき」を紹介するという見通しをもたせるために、新聞のサンプルと、学習計画を掲示する。 探検で見付けた事や店の人の思いや願いに朱線を引き、交流しやすくしておく。 店の人の顔写真を用意し、探検で見付けたことや、聞いたことを想起できるようにする。
	2	グループ毎に、探検で見付けたことや店の人の思いや願いを交流する。			
活 動 す る		店	高橋園芸さん	杉原自転車さん	ヒラツカ電気さん
	紹介したいこと※思い	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の苗を育てている。 ※よい苗を育てて、多くの人に育ててほしい。 ※野菜を好きになってほしい。 いろいろな種類がある。 ※お客さんの好みに合わせたい。 ※種類を選べるようにしたい。 ※野菜の特徴を知ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車を売っている。 ※小学生からお年寄りまで、様々な人に利用してほしい。 パンクや壊れた時の修理をしている。 ※困ったことがあればすぐに立ち寄ってほしい。 ※安全に自転車に乗ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な電化製品が売っている。 ※季節にあった商品を用意し、1年を通してお客さんに利用してほしい。 壊れた電気製品の修理やエアコン掃除のサービスをしている。 ※修理をするときに物を貸して、お客さんが困らないようにしたい。 	<本時までの児童の意識> 聞いてきたことや、見てきたことを、どうやってみんなに伝えたらいいかな。 ・グループ交流では、店の人がお客さんや地域の人に寄せる思いを考えることができるように「それは、お客さんへのどういう気持ちからなの?」という問い返しをする。 ・話し合いで決めた記事を付箋に書いて、新聞に貼っていく。 ◆ 評価規準 地域で生活したり働いたりしている人々の、地域の人への思いに気付いている。 (気付き) <作業・つづき>
	アドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 自分が育ててどうだったか話してもおもしろいよ。 1年間で何種類の野菜を育てているのか知りたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前にあることで、何がいいのか伝えるといいね。 自転車以外の物も売っていたよね。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節をつかったイベントをやっていることを紹介するといいね。 今の季節はどんな電化製品が売れるのかな。 	
3	記事を書く分担を決める。				
振 り 返 る	4	活動を振り返り、めあてに対する評価(なかよくした・はっけんした)をし、「がんばりマン・はっけんマン」で今日のがんばりを認め合う。 ・僕は「がんばりマン」です。高橋園芸さんでは、みんなに野菜を好きになってもらうために作っていることを、野菜の好き嫌いを言う僕たちのことを思い出して、読む人に分かりやすく感想に書きました。 ・私は「はっけんマン」です。ヒラツカ電気さんは、壊れた電気製品の修理をするときに、電気屋さんにある物を貸して、お客さんが困らないようにしていることを発見しました。そのことを、エアコン掃除のサービスと一緒に新聞記事にすることにしました。			・2つの観点での評価と振り返りカードへの記入・交流を行い、教師による価値付けにより、自己の頑張りや成長に気付くことができるようにする。
	5	教師による評価をし、次時への意欲付けをする。 ・次の時間は、店で働いている人々の思いや願いを、新聞に書きましよう。			

6 単元構成表 「つたわる 広がる わたしの生活」

	関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
単元の目標	以前のまち探検などで関わった人や場所と繰り返し関わり、親しみや愛着をもって、話したり、いっしょに活動したりできる。	繰り返し関わりたい人や、いっしょにしてみたい活動を決め、地域で生活したり働いたりしている人々と自分たちとの関わりについて考え、それを素直に表現できる。	自分の住んでいる地域には、多くのよさがあることに気付くとともに、地域で生活したり働いたりしている人々が、地域に抱いている思いに気付くことができる。
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに行った地域の場所や、関わった人々に感心を持ち、もう一度行こうとしている。① ・まち探検の計画を立てたり、準備をしたりしようとしている。② ・地域の人ともっと仲良くなりたいたいという思いを発言しながら、地域の人にもっと聞いてみたいことを、友達と話している。③ ・グループで決めた探検する人や場所に関心を持ち、ルールやマナーを守って、まち探検をしようとしている。④⑤⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら、探検の計画を立てている。②③ ・相手や場に応じた適切な行動について考え、地域の人と関わっている。④⑤⑥ ・探検したことを振り返り、その中から自分が最も心に残ったことを選び、記録カードに記入している。⑥ ・グループ事にお店の人の思いを交流し、友達や先生からのアドバイスも取り入れ、紹介することを決めている。⑦⑧ ・自分の伝えたいことをより分かりやすく伝える方法や内容を考え、発表内容を改良している。⑨⑩⑪ ・1年生に分かりやすいように、丁寧に説明したり、作品に写真などを付け足したりするなど、工夫しながら発表している。⑬ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活したり働いたりしている人々の、生活していく上での工夫や、地域への思いに気付いている。④⑤⑥ ・お店で見てきたこと聞いてきたことを基に、お店の人のお客さんへの思いに気付いている。⑦⑧ ・自分たちが暮らしている地域には、すてきな人がいることを友達と話したり、振り返りカードに書いていたりしている。⑫

<単元前の児童の意識>

一学期のまち探検は楽しかったな。また行きたいな。〇〇さんは、どうしているかな。

気付かせたい内容	活動内容	具体的な視点
<p>自分がこれまでに関わった地域の人や場所には、すてきどころが数多くある。</p> <p>一学期のまち探検のときと比べて、上手に地域の人と関われるようになった。 自分や友達がインタビューした地域の人には、こんな思いで生活したり働いたりしている。また、自分たちの生活といろいろなところで関わったり支えてくれたりしている。</p> <p>自分が探検に行った場所以外にも地域には、すてきな場所が沢山あり、すてきな人も沢山いる。</p>	<p>一学期のまち探検や、夏休みに行った場所、これまで体験した地域での出来事などを友達と伝え合う。①</p> <p>一学期のまち探検の経験などをもとに、みんなで話し合って探検の計画を立てたり、準備をしたりする。②③</p> <p>計画した場所に行き、地域の人にインタビューをする。④⑤⑥</p> <p>伝えることを決め、それに適した表現方法を選んで、新聞にまとめる。⑦⑧</p> <p>友達や先生にアドバイスを聞き、より分かりやすく伝える方法や内容を考え、発表内容を改良する。⑨⑩⑪</p> <p>地域でなかよくなった人やその人がいる場所のよさを友達と伝え合ったり、一年生に伝えたりする。⑫⑬</p>	<p>ウ) 地域への愛着 自分の住む地域に親しみをもつ。</p> <p>エ) 公共の意識とマナー 探検の約束を決める。</p> <p>イ) 身近な人々との接し方 礼儀正しく挨拶、見学、質問をする。</p> <p>カ) 情報と交流 探検で発見したことをわかりやすく伝えられるよう工夫する。</p> <p>ウ) 地域への愛着 養基の町や人に親しみをもつ。</p>

<単元後の児童の意識>

養基のまちにはすてきな場所がいっぱいあって、すてきな人がいっぱいいるな。とってもすてきな町に安心して住めてうれしいな。